

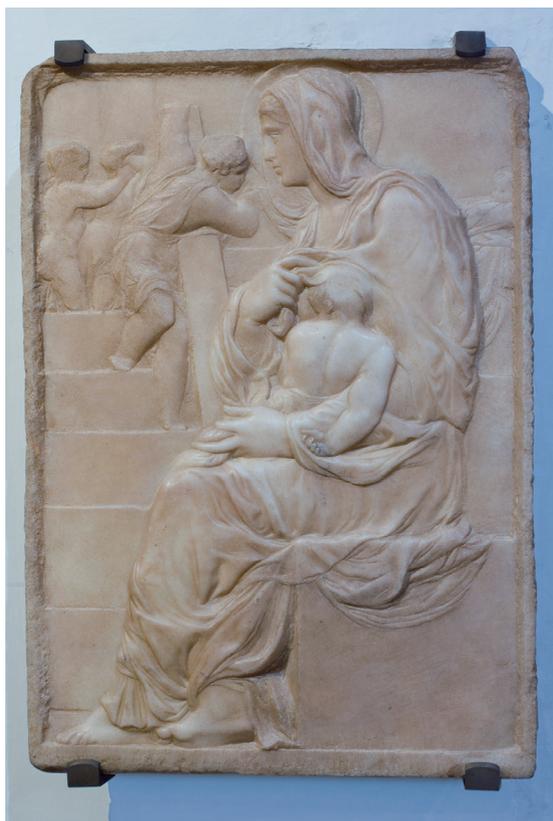
ZEPHYROS

ゼフェロス No.56

The National Museum of Western Art, Tokyo 国立西洋美術館ニュース

2013年8月20日発行

ISSN1342-8071



システイーナ礼拝堂500年祭記念

ミケランジェロ展
天才の軌跡

△

会期：9月6日（金）～11月17日（日）

企画展 「システーナ礼拝堂500年祭記念 ミケランジェロ展—天才の軌跡—」



《「レダ」の頭部習作》
1530年頃 赤石墨/紙
©Associazione Culturale Metamorfoosi e
Casa Buonarroti



《「最後の審判」のための習作》
1533-34年頃 黒石墨/紙
©Associazione Culturale Metamorfoosi e
Casa Buonarroti

日本におけるイタリア年にあたる2013年、国立西洋美術館は春のラファエロ展に続き、9月6日から11月17日まで「システーナ礼拝堂500年祭記念 ミケランジェロ展—天才の軌跡—」を開催します。

ミケランジェロ・ブオナローティ（1475-1564）は、ルネサンスの頂点を極めた、西洋美術における最も偉大な芸術家の1人です。本展覧会は、生前より「神のごとき」と称され、現在に至るまで深く崇敬を集めるこの芸術家の創造の軌跡とその波紋を、彼の子孫のコレクションを引き継ぐカーサ・ブオナローティ（フィレンツェ）の所蔵品60点によって紹介するものです。ミケランジェロの作品・資料に関しては世界一の質と量を誇る同館の全面的な協

力を得たことで、フレスコ画や巨大な石彫といった持ち運び不可能な作品によって主に知られるこの芸術家の個展を、日本で開催することが可能となりました。

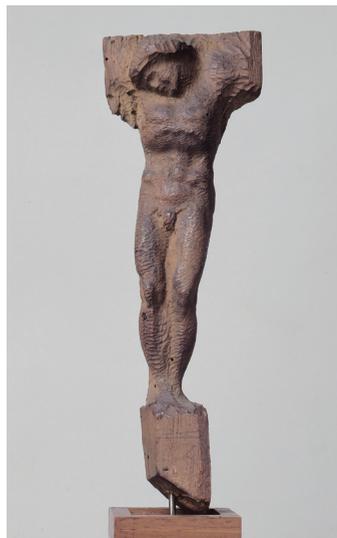
ミケランジェロはフィレンツェでメディチ家の庇護を得ながら研鑽を積み、若くして彫刻家として活躍を始めました。本展覧会の「目玉」というべき作品が、その初期時代を代表する傑作《階段の聖母》(表紙)です。15歳前後で制作したとされるこの大理石浮き彫りは、ルネサンス彫刻の創始者ドナテッロの得意としたスティアッチャート（極薄肉浮彫）と呼ばれる技法を取り入れたものですが、マリアの全身を極めて立体的に彫り出し、力強い存在感を与えている点に、早くもミケランジェロの造



〈クレオパトラ〉
1535年頃 黒石墨/紙
©Associazione Culturale Metamorfosi e
Casa Buonarroti

形の特徴がはっきりと現れています。本作はカーサ・ブオナローティにて門外不出とされてきたもので、今回のように長期貸し出し展示されるのは本展が史上初の機会となります。

本展では、20点を超すミケランジェロの貴重な素描が一堂に会する点も見逃せません。彼は、ヴァチカン宮殿内のシスティーナ礼拝堂の天井と祭壇壁にフレスコ画を描く際、膨大な量の準備素描を残しました。そうした巨大な作品をこの芸術家はいかにして創造したのか、本展ではミケランジェロの創作の知られざるプロセスを垣間見せる興味深い素描群が展示されます。また同時に、〈クレオパトラ〉のような完成作としての素描作品も出品され、ミケランジェロの素描の多彩さをご覧いただけ



〈キリストの磔刑〉
1563年頃 木
©Associazione Culturale
Metamorfosi e Casa Buonarroti

るでしょう。そのほか、これまであまり知られていない彼自筆の手紙や手稿類なども紹介し、この偉大な芸術家の制作における苦悩や人間的側面も併せてお楽しみいただけます。

(国立西洋美術館研究員 川瀬佑介)

表紙

《階段の聖母》1490年頃 大理石
©Associazione Culturale Metamorfosi e Casa
Buonarroti

挿図はすべてミケランジェロ・ブオナローティ作、
カーサ・ブオナローティ所蔵

**システィーナ礼拝堂 500 年祭記念
ミケランジェロ展 - 天才の軌跡**

一般 1400 円 (1200 円)
大学生 1200 円 (1000 円)
高校生 700 円 (600 円)

* 中学生以下、心身に障害のある方および付添者 1 名は
無料 (入館の際に学生証・障害者手帳をご提示ください。)
* () 内は 20 名以上の団体料金

会期：8月6日（火）～11月4日（月・休） 本館展示室
特別展「ル・コルビュジエと20世紀美術」



アトリエのル・コルビュジエ
©FLC/ADAGP, Paris&JASPAR, Tokyo, 2013
D0269

シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ
(ル・コルビュジエ)
《垂直のギター（第2作）》
1920年 油彩/カンヴァス
パリ、ル・コルビュジエ財団
©FLC/ADAGP, Paris&JASPAR, Tokyo, 2013
D0269

通常、当館の本館と新館は常設展示に利用され、本館1階の「19世紀ホール」にロダンの彫刻、2階に中世末期から18世紀までの絵画、そして新館に19世紀のロマン主義から20世紀半ばまでの絵画と彫刻が展示されています。しかし、今年度後半に本館の改修工事が行われるにあたり、7月から来年3月までのあいだ、本館・新館とも展示内容が大幅に変わることになりました。この期間、コレクションの展示はスペースを縮小して、新館のみで行われます。一方、本館では8月6日から11月4日まで、1959年に竣工した本館建築の設計者ル・コルビュジエ（1887-1965年）に関する特別展を開催します。

ル・コルビュジエは20世紀を代表する建築家であると同時に、絵画、彫刻、版画、タピ



スリー、映像などの分野にわたって活躍した多才な芸術家でもあります。彼は毎日の朝をアトリエでの絵画制作、午後を設計事務所での仕事にあて、異なる領域のあいだを往復し続けた稀代のクリエイターでした。今回の展覧会は、彼が遺した多数の作品や資料を管理するパリのル・コルビュジエ財団と、彼の美術作品に関する世界有数のコレクションをもつ大成建設株式会社の協力のもとで実現しました。

ル・コルビュジエをめぐる展覧会は、世界中でたびたび開かれています。日本でも2007年に森美術館で大規模な回顧展が行われ、また当館では2009年に開館50周年を記念して、本館建築の誕生とその後の変遷に焦点を当てた「ル・コルビュジエと国立西洋美術

No Image

ル・コルビュジエ《円卓の前の女性と蹄鉄》
1928年 油彩/カンヴァス
パリ、ル・コルビュジエ財団
©FLC/ADAGP, Paris&JASPAR, Tokyo, 2013
D0269

館」展が開催されました。しかし、今回の展覧会のもっとも大きな特色は、多様なジャンルにわたるル・コルビュジエの美術作品を、彼自身が設計した美術館の空間の中で鑑賞できることにあります。彼が後半生に「諸芸術の総合」を訴えたことは近年あらためて注目されていますが、本展は彼の美術作品と建築空間が実際にどのように響きあうかを確かめることのできる機会となるでしょう。

また、本展には、ル・コルビュジエの作品とともに、彼と密接な関わりのあった同時代の芸術家たちの作品も展示されます。「レスプリ・ヌーヴォー（新精神）」の旗印を掲げた1920年代の盟友オザンファン、レジエ、リブシッツ、彼が強い関心を寄せたキュビスムの芸術家たち（ピカソ、ブラック、グリズ、ロー

ランス）、さらに彼がいち早く注目したポーシャン、デュビュッフェ、ルイ・ステールら異色の画家たちの作品を通じて、モダニズムの枠にとらわれず大きな視野のもとで創造の根源を探ろうとしたル・コルビュジエのユニークな芸術観の一端を垣間見ること、本展のもうひとつの狙いです。

（国立西洋美術館学芸課長 村上博哉）

常設展（本展は常設展料金でご覧いただけます）

一般 420円（210円）

大学生 130円（70円）

*小・中学生・高校生および18歳未満、65歳以上、心身に障害のある方および付添者1名は無料（入館の際に学生証または年齢の確認できるもの、障害者手帳をご提示ください。）

*（ ）内は20名以上の団体料金

EVENT イベント

展覧会に関連して次のプログラムを実施いたします。ぜひご参加ください。

ル・コルビュジェと20世紀美術

● 講演会

日 時: **10月6日(日) 14:00~15:30**

林 美佐(大成建設ギャラリー・タイセイ学芸員)

「美術作品による建築空間の創造—壁画、タピスリー、フォトモンタージュ—」

日 時: **10月19日(土) 14:00~15:30**

山名 善之(東京理科大学准教授)

「国立西洋美術館とル・コルビュジェの総合芸術」

会 場: 国立西洋美術館講堂(地下2階)

定 員: 各回先着 140名(聴講無料、ただし聴講券と観覧券が必要です)

参加方法: 当日12:00より、館内インフォメーションにて、常設展またはミケランジェロ展の観覧券をお持ちの方お1人につき1枚聴講券を配付します。会場へは開演の30分前からご入場いただけます(自由席)。

ミケランジェロ展—天才の軌跡

● 講演会

日 時: **9月7日(土) 14:00~15:30**

上村 清雄(千葉大学教授)

「ミケランジェロとフィレンツェ」

日 時: **11月2日(土) 14:00~15:30**

森 雅彦(宮城学院女子大学教授)

「神のごとき人への行路」

日 時: **10月5日(土) 14:00~15:30**

金山 弘昌(慶應義塾大学准教授)

「ミケランジェロと建築」

会 場: 国立西洋美術館講堂(地下2階)

定 員: 各回先着 140名(聴講無料、ただし聴講券と本展の観覧券が必要です)

参加方法: 当日12:00より、館内インフォメーションにて、本展の観覧券をお持ちの方お1人につき1枚聴講券を配付します。会場へは開演の30分前からご入場いただけます(自由席)。

● スライド・トーク

展覧会のみどころや主な作品について、スライドを使って解説します。

日 時: **9月13日(金)、27日(金)、10月11日(金)、25日(金)、11月1日(金) 各回18:00から約30分**

会 場: 国立西洋美術館講堂(地下2階)

解 説: 友岡 真秀(東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程)

定 員: 各回先着 140名(聴講無料、ただし本展の観覧券が必要です)

参加方法: 直接講堂にお越しください(開場時間は各日とも開演の30分前)。

※講演会、スライド・トークの内容等は変更となる場合があります。

最新の情報は国立西洋美術館ホームページまたはハローダイヤル(03-5777-8600)でご確認ください。

Museum shop ミュージアム ショップ

新商品

- LEDライト付ルーペ
(ボールチェーン付き)

1,050円 (税込み)



暗い所でも大活躍のLEDライト付きルーペです。読書や細部の確認はもちろん、レストランでメニューをみたりと、外出先でも役に立つルーペ。バッグにつけて携帯できるサイズが嬉しいひと品です。



Café カフェすいれん



「ミケランジェロ展一天才の軌跡」
特別メニュー

期間 9月6日(金)～11月17日(日)

- 真鯛のカルパッチョ

1,260円 (税込み)

愛媛の国産真鯛に、トマトペースト、にんにく、パプリカで仕上げたソースと九条ねぎをちらした彩り鮮やかな一品。イタリア、ブーリア産の程良い酸味が魅力的な白ワインと一緒にどうぞ。

チケット売場、館内施設(常設ミュージアムショップ、カフェすいれん)でSuica、各種クレジットカードがご利用いただけます。(ただし、一部除外品がございます。)詳細については、当館ホームページをご覧ください。

展示カレンダー [企画展示/常設展示] 2013年8月～2014年1月

休館日 土日・祝日

AUG	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
8	ピカソが描いた動物たち—ビュフォン「博物誌」にもとづく挿絵本より(新館2階 版画素描展示室) 7月9日(火)～8月25日(日)																														
	常設展一部(本館)閉室 8月5日(月)まで																														
	ル・コルビュジエと20世紀美術(本館) 8月6日(火)～11月4日(月・休)																														

SEP	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
9	システーナ礼拝堂500年祭記念 ミケランジェロ展—天才の軌跡 9月6日(金)～11月17日(日)																														
	ル・コルビュジエと20世紀美術(本館) 8月6日(火)～11月4日(月・休)																														

OCT	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
10	システーナ礼拝堂500年祭記念 ミケランジェロ展—天才の軌跡 9月6日(金)～11月17日(日)																														
	ル・コルビュジエと20世紀美術(本館) 8月6日(火)～11月4日(月・休)																														
	ソフィア王妃芸術センター所蔵 内と外～スペイン・アンフォルメル絵画の二つの「顔」(新館) 10月3日(木)～2014年1月5日(日)																														

NOV	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
11	システーナ礼拝堂500年祭記念 ミケランジェロ展—天才の軌跡 9月6日(金)～11月17日(日)																														
	ル・コルビュジエと20世紀美術(本館) 8月6日(火)～11月4日(月・休)																														
	ソフィア王妃芸術センター所蔵 内と外～スペイン・アンフォルメル絵画の二つの「顔」(新館) 10月3日(木)～2014年1月5日(日)																														

DEC	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
12	国立西洋美術館×ポーラ美術館 モネ、風景をみる眼—19世紀フランス風景画の革新 12月7日(土)～2014年3月9日(日)																														
	ソフィア王妃芸術センター所蔵 内と外～スペイン・アンフォルメル絵画の二つの「顔」(新館) 10月3日(木)～2014年1月5日(日)																														
	生誕150周年記念 国立西洋美術館所蔵 エドヴァルド・ムック版画展(新館2階 版画素描展示室) 12月7日(土)～2014年3月9日(日)																														

JAN	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1	国立西洋美術館×ポーラ美術館 モネ、風景をみる眼—19世紀フランス風景画の革新 12月7日(土)～2014年3月9日(日)																														
	ソフィア王妃芸術センター所蔵 内と外～スペイン・アンフォルメル絵画の二つの「顔」(新館) 10月3日(木)～2014年1月5日(日)																														
	生誕150周年記念 国立西洋美術館所蔵 エドヴァルド・ムック版画展(新館2階 版画素描展示室) 12月7日(土)～2014年3月9日(日)																														

●臨時休館・一部閉室のお知らせ

- 9月5日(木)は展覧会準備のため全館休館します。
- 10月1日(火)、2日(水)は展覧会準備のため新館展示室を閉室します(常設展はご覧いただけません)。
- 11月5日(火)～2014年3月24日(月)は施設整備のため本館展示室を閉室します。
- 12月6日(金)は展覧会準備のため全館休館します。

●常設展示 [新館]

2014年3月下旬まで、常設展は新館のみで開催しています。ロダンやブルデルの彫刻と、中世末期から20世紀初頭までの西洋絵画をご覧ください。

(展示作品については、館内インフォメーションでおたずねいただくか、当館ホームページをご覧ください。)

*展覧会名、会期、内容等は変更されることがあります。

*作品の保存・貸し出し等の状況により、掲載された作品をご覧いただけない場合がございます。

国立西洋美術館

- 所在地…〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7
- 開館時間…午前9時30分～午後5時30分
(冬期:午前9時30分～午後5時)
毎週金曜日…午前9時30分～午後8時
*入館は閉館の30分前まで
- 休館日…月曜日(ただし、月曜日が祝日あるいは振替休日となる場合は翌火曜日)
*その他、臨時に休館することがあります。
- 常設展無料観覧日…毎月第2、第4土曜日、文化の日(11月3日)
- お問い合わせ…ハローダイヤル:03-5777-8600
<http://www.nmwa.go.jp/>

*誌名について…「ZEPHYROS」(ゼフュロス)はギリシャ神話の神々のひとりで、西風を司る神様の名前です。西欧では暖かさや色ざまざまの花々を運ぶ春の風をさします。

ZEPHYROS

ZEPHYROS 第56号

編集・発行 国立西洋美術館/2013年8月20日(年4回発行)
協力 公益財団法人 西洋美術振興財団
印刷 (株)アイネット